

# おおがしわ

学校教育目標『心豊かな子どもの育成』



東京都・大柏小・稲田中・北野小  
〈小中連携・学習生活応援〉  
「相手より先に会釈・あいさつをしよう！  
時間を守ろう！」  
「授業の約束を守ろう！」  
「清掃は、一生懸命に盛り絡もう！  
家庭学習を必ず行う習慣をつけよう！」

市川市立大柏小学校  
学校だよりNO. 2  
令和2年4月30日

3大ルール ・あいさつは先にする ・自分がされて嫌なことはしない ・自分で考えて行動する

## いちばん大切なことは・・・

令和2年度も早1か月が過ぎました。5月の連休も終わると、例年でしたら運動会の練習が始まり、学校中が活気にあふれる季節のはずですが、今年は静まり返ったままです。また、各地でイベントや取り組みが中止になり、世の中全体が色を失ったようで、時間の流れも停滞しているかのようです。



しかし、それはよそのことではなく、小学生の子供たちにも差し迫った問題です。臨時休校の延長で、普段通りの学校生活が送れなくなっているだけでなく、自粛のため家族でのレジャーや友達との外遊びなどもできなくなっています。

全国的な学校でのこのような状況は、戦後の歴史の中では初めてのことです。登校できないことにより、子供たちの学力や体力、心身の健康など心配されることはたくさんありますが、今考えるべきいちばん大切なことは、子供たちも含めた人の命を守ることです。現在の状況もいずれは終息を迎えます。そのとき元気でいれば、そこから巻き返しが図れます。関東大震災でも太平洋戦争でも日本は壊滅的打撃を受けましたが、そこから立ち上がって今日があると、子供のころ祖父母より聞いた記憶が勇気となってよみがえります。人間の底力を信じて希望を忘れず、不安を感じている子供たちに、「大丈夫だよ。どんなに大変なことにも終わりは必ずあるから。」と安心感を与えていくのが私たち大人の務めではないでしょうか。そのために、コロナウイルスの感染予防について家族で今一度確認していくことも大切です。一人ひとりが新型コロナウイルスに感染しないよう注意し、学校再開の日を元気に迎えられるように、あと少し辛抱していきましょう。過ぎ去らない嵐はありません。

## 臨時休校中の家庭学習について



臨時休校が延長されましたので、5月の家庭学習は新しい学年の教科書に基づいた課題を設定していきます。その目安とするために、5月11日以降1週間の学習予定を日課表にして配付します。日課表は、市川市教育委員会が原案を作成し、市内全公立小学校で家庭学習の内容がそろそろように配慮したものです。

臨時休校中の家庭学習でもっとも重視していただきたいのは、毎日規則正しい生活リズムをつくることです。日課表にしたがって、学校で授業をしているのと同じように学習に取り組むようお願いいたします。

学校が再開しましたら、家庭学習で取り組んだことを土台として授業の中で復習・補足をしていきます。休校中の家庭学習で完璧に理解するというよりも、予習として取り組み、再開後の授業でよくわからなかった個所を確認する、理解を深める形で進めていきます。なお、課題に取り組んでいく過程で、よくわからなかったことや困ったことがあったらお気軽に学校にご相談ください。

なお、5月に使用する課題や学年だより等のたよりを保護者の方に取りに来ていただく日を連休明けの11日（月）に設定します。3密を避けるため、学年・学級ごとに来校の時間設定をさせていただきます。時間に関しては、後日メールにてお知らせします。指定の時間に来校できない方は、後日ご都合のつく日に来校して受け取ってください。時間は、午前8時30分より午後4時30分の間にお願いします。職員玄関より入り、正面事務室にお声掛けください。

# 令和2年度大柏小学校の教育活動について

今年度も、次の内容のとおり大柏教育を推進してまいりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。なお、本内容は学校再開後「学校経営方針説明会」で説明させていただく予定です。

## 1 教育目標 「心豊かな子どもの育成」

### (1) 目指す学校像

#### ・「ちから」の学校

(基礎的・基本的な学力の習得とたくましい体力をつけ、生涯学習の基礎を培う学校)

#### ・「みどり」の学校

(身近な自然や生命環境、地域の人との触れ合い、関わり合いを通して、  
体験的に問題解決の力をつける学校)

#### ・「こころ」の学校

(人と関わって生きる喜びや厳しさを知らせ、支え合って生きる力を養う学校)

### (2) 目指す児童像

・自ら学習に体力づくりに取り組もうとする意欲と実践力をもった子ども。

・自ら学び、考え、行動する創造性豊かな子ども

・自他を認め合い、思いやりと社会性のある子ども

### (3) 目指す教職員像

・常に「子どものために」を第一に考え、相手の話を傾聴し行動できる教職員

・互いの良さを認め合い、仲間とともに励む教職員

・わかりやすい授業のために自らの資質向上に努める教職員。

## 2 経営重点

### 「主体性の伸長」

教職員のアンケートから、大柏小児童の課題として「学力差」「自主性の不足」があげられました。学校教育目標「心豊かな子どもの育成」のためにはいずれも不可欠なものです。そこで今年度も「主体性の伸長」を経営重点として取り組みます。何ごとにも前向きに取り組む姿勢「主体性」が高まれば学校生活全体の向上につながると考えます。授業や行事での頑張り、仲間との良好な人間関係が、学校生活の好循環につながると考えています。

指示待ちの児童 先生からの指示があれば動ける児童



自主性のある児童 やるべきこと(具体的な行動)がはっきりしている中で、  
周囲から言われなくても動ける児童



主体性のある児童 何をやるか決まっていな中で、目的を達成するために  
自分は何をすべきか考えて動ける児童

## 3 教育目標の具現化に向けた主な取組

・インクルーシブ教育とユニバーサルデザイン教育の推進

・算数科における少人数指導の充実

・家庭学習の習慣化

・新学習指導要領への対応

・いじめの早期発見、不登校児童への支援の推進

・学校運営協議会の充実

・小中一貫した学習規律の向上 (五中ブロック学習生活規律への取り組み)

